

令和元年度第1回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日 時】 2019年（令和元年）7月29日（月）10:00～12:10

【場 所】 逗子市役所5階第4会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞福井座長、水口副座長、田中メンバー、石井メンバー、松田メンバー、
三宅メンバー、小林メンバー、島メンバー、岡本メンバー、北村メンバー、
下境メンバー代理：小川逗子支店長、東メンバー、芳垣メンバー、
須藤メンバー、山田メンバー

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 大山メンバー

【事務局】 福本経営企画部次長、仁科企画課主幹、四宮専任主査、金子主任、
橋本主事（記録）

【傍聴者】 1人

【資料】 次第

逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議メンバー名簿

令和元年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール

資料1 平成30年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の
進捗状況表

資料2 平成30年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

参考1 平成30年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）
の進捗状況表

参考2 平成30年度逗子市人口データ集

参考3 平成30年度逗子のまちづくりに関するアンケート調査集計結果

参考4 まち・ひと・しごと創生基本方針2019について

参考5 人口ビジョン、第2期「逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定の基本的な考え方（案）

参考6 逗子市人口ビジョン（2019.7月時点修正案）

1 開会

2 メンバーの交代について

○事務局から会議メンバーの交代を報告した。

- ・新たに市民メンバーを公募した結果、石井メンバーと松田メンバーが参加することとなった。
- ・逗子市商工会から選出されていた桐ヶ谷メンバーが、市長に就任したため、推進会議メ

ンバーを退任した。

- ・逗子市観光協会から小林メンバーが新たに参加することとなった。
- ・京浜急行電鉄株式会社のメンバーが、川俣メンバーから島メンバーに交代した。
- ・事務局に異動があり、金子が加わった。

3 スケジュールの確認

○「令和元年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール」をもとにスケジュールの確認を行った。

4 平成30年度実施事業に関する効果検証について【意見交換】

(1) 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○参考2をもとに逗子市の人口について、座長が説明した。

○参考1を参考にしながら、資料1について、総合戦略の基本目標ごとに全体で意見交換を行った。

○次のような質疑、意見交換が行われた。

◆基本目標1

(田中メンバー) 全体的なことだが、具体的施策の自己評価について、去年は「目標年次までに達成できる見込みである」としていたものを、今年は「目標年次までには達成できない見込みである」と評価しているものが増えたのはなぜか。

(事務局) 計画期間の終期まであと1年となった中で、思ったような展開になっていないため、評価が変わってきている。

(田中メンバー) 2017年度と比べ、2018年度の事業費が少なくなっている事業があるが、事業にメリハリをつけたということか。なぜそうなったのか。

(事務局) 一つ一つの事業は、総合戦略に位置づけてはいるが、予算編成の手続きにより予算化していく。緊急財政対策を実施しているため、既存事業の絞り込みをしたほか、新規事業の予算化が難しかった。

(出石アドバイザー) 「1-1-①結婚から妊娠、出産に向けた支援」及び「1-3-②働きながら子育てしやすい環境の整備」の自己評価について、「目標年次までには達成できない見込みである」と評価しているが、見解を伺いたい。

(山田メンバー) 結婚して、妊娠、出産という流れの中で、まず結婚についての施策を展開することができなかった。一般的な子育てサービスは事業を伸ばす方向で進めていたが、結果としてこうなってしまった。出生数については、全国的に減少の傾向もあり、逗子市単独では難しい面もある。できるだけ子育てしやすいまちにしていこうと考えているが、子育て世代が転入してくるようなまちづくり等、様々な要素が絡み合っており、出生数の増加に向けては、総合的に戦略を立てて進めていく必要がある。

また、待機児童については、待機児童数が減ると翌年は増えるといったことの繰り返し

であり、苦勞している。

(石井メンバー) 人口を増やす、出生率を上げるということに対しては、基本目標 1 と 2 の両方で考えていく必要がある。全国的にも、夫婦と子供の世帯が 3 割弱で、単身者が 3 割を超えており、今後もこの傾向が続いていくので、単身者も含めた若年層が転入してくる仕掛けが必要だと思う。彼らが地域コミュニティに関わり、コミュニケーションが生まれ、結婚につながっていくという側面もある。お見合いの時代ではないので、出産や子育て環境を整えたから子どもが産まれるというわけでもない。

(松田メンバー) 出生率を上げることに對して、新しい人が転入してきて、子どもを産むことも大事だと思う。一方、今子どものいる人がもう一人産むことのできる環境をつくることも大事だと思っていて、希望する子どもの数をもてるよう支える取組みが大事。待機児童数の増減が繰り返されているのもわかるが、希望する人が必ず入所できる環境をつくることで、もう一人産むことのできる社会に近づくのではないか。

(小林メンバー) 基本的方向 2 に「子どもたちが学びやすい環境整備…」とあるが、学校の校舎の老朽化が進んでいると感じている。老朽化等への対策は、盛り込まれているのか。

(山田メンバー) 「1-2-①学校教育の充実」の主な取組みとして、参考 1 に「学校施設整備事業」を掲載させていただいているが、学校の整備に関しては、総合戦略とは別に整備計画を立てており、それに沿って進めている。

(水口メンバー) 「1-3-①ワーク・ライフ・バランスの実現に寄与する取組みの推進」の KPI 「母親両親教室に参加する男性の数が 42%になっている(医療機関で実施する講習も含む)」について、2018 年度分に記載のある新統計とはどういったものか。

(事務局) これまで把握していなかった医療機関で実施する講習について、2018 年度から把握することができるようになったため、新統計として記載している。

(水口メンバー) 昨年、働き方改革の流れを受けて、行政としてもテレワークを検討したいという話があった。参考 1、23 ページにもテレワーク促進に向けたスキームを検討したとあるが、何か方向として考えていることがあるのか。

(事務局) 現時点で、検討結果がまとまっている段階ではない。また、財政負担が伴う施設整備は難しいと考えている。民間の取組みが同時並行で進んでいくことが必要なので、民間事業者と情報共有しながら、彼らの動きをサポートしているところである。

市長の意向としては、企業誘致、起業促進に力を入れていきたいと考えていて、その場としてプラットフォームを立ち上げる予定である。テレワークやコワーキングスペースの事業者もプラットフォームへの参加を想定しており、市内で産業が興るとともに企業誘致につなげていきたい。

(松田メンバー) 週末だけの起業や副業をしている方などが増えてきていて、逗子らしくていいなと思っている。世の流れとしても副業が増えてきているので、そういう人が市内にもっと増えてくると、それはそれで一つの形として面白いと思う。

(出石アドバイザー) 今のご意見は、基本目標 3 に関わる意見としてまとめたいと思う。

基本目標1について、出生率の上昇は、一つの自治体で成果を上げることは難しいことなので、国、県、近隣自治体とも連携して、長期的視野に立って取り組んでいただきたい、ということだと思う。その他にはいかがか。

(東メンバー) 待機児童の解消について、話題になっていたので、意見として入れていただきたい。保育所をつくるだけでなく、他にも様々な手法で保育環境を充実させるなど、いろいろな手立てがあると思っている。

(出石アドバイザー) 基本目標1について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

◆基本目標2

(東メンバー) 人口データ集の中で、久木8丁目の転入者が多くなっている。要因として、ハイランドでは、区画が2分割、3分割されて売りに出されているからではないかと思う。住宅購入の予算が限られている中で、購入費用が下がったおかげで、転入できたという人も多いのではないか。そうすると、人口増に関しては、むしろ住宅政策が大きく影響しているような印象を受ける。

(三宅メンバー) 同じ意見である。やはり土地を分割すると、価格帯が落ちる。結果として、住宅環境がどうなのかということはあるが、今後の見方としてはやはり住宅政策は、社会増への効果的な政策の一つではないか。市場に任せればいい話で、わざわざ市がどうこうする話ではないが、そこに網をかけるような政策はやめた方がいいと思っている。住みやすいまちであれば、転入者も増えると思う。

(水口副座長) 本日席上に、日本経済新聞の記事を配付させていただいた。昨年、出石アドバイザーもお話しされていたが、大学生をもっと積極的に活用してはいかがか。大学と協定を結んでいても、具体的な事例が出てきていないように感じる。

(事務局) 5月に空き家バンクを開設した。今後は、空き家の利活用を促進していく予定であるが、どのように利活用していくか仕組みづくりがまだ弱いので、横須賀市の例は、大変参考になる。横須賀市も当初は国の交付金を活用し、空き家の改修費用を賄った。市の財政負担が伴うため、そこも含めて大学とどのような連携ができるか検討していきたい。

(出石アドバイザー) 空き家バンクは、どこの自治体でもうまく機能しているとは言えない。空き家を活用することで、移住の拠点にできるかという点と難しいが、モデルとしてのインパクトはあるので、大学と連携した取組みは可能である。空き家を利活用して、それを人の流れをつくる起爆剤にすると、交流人口の増加にもつながる。産官学金労言と連携した取組みが進むとよい。

(北村メンバー) 逗子市でも民泊をされている方が出てきている。民泊というと、空き家を利用してというイメージがあるが、なかなか空き家を利用してほしいというニーズと金額とが折り合わない面もある。インパクトという点でいえば、そういったところで空き家

の需要が出てくるといいと思う。また、交流人口という意味でも、民泊が増えることで非常にプラスになる。

(島メンバー) 弊社では、能見台の分譲住宅地で築年数の古い住宅を、大学と連携しリノベーションした事例がある。民間事業者としては、開発に関わったなど縁のある不動産が馴染みやすいということもあり、逗子市ではそのようなことができていない。先行事例もあるため、費用面の補助等があれば、第2弾として逗子市での取組みも可能かと思う。

また、移住については、横須賀市や三浦市の方が切羽詰まっているように感じる。そのため、逗子市に比べてもポスター宣伝やイベントに力を入れている。逗子市での取組みにおいて協力できることがあれば、ぜひ協力をしていきたい。

(岡本メンバー) 空き家については、努力は感じられるが、全国的にもなかなか対策ができていない印象がある。現在、高齢者が住んでいて、これから空き家になる住宅もあると思うので、金融機関としてもっと入り込んで、コンサルティングをしていく必要があると思っている。

「2-2-②交流人口の増加に寄与する取組みの充実」のKPI「入込観光客数が100万人になっている」については、ぜひ目標を達成してほしい。また、「2-2-①シティプロモーションの推進」のKPI「市HPのシティプロモーションページへのアクセスが12,000件/年になっている」について、アクセス数がとても伸びていることから、逗子市に興味を持っている人が増えているのではないかと。都内からの移住者も変わらず多いので、インターネットを活用し、都内在住者へのアクションを強化することで、「2-1-①移住・定住施策の推進」のKPI「移住・定住に係る相談が60件/年になっている」の件数も増加するのではないかとと思う。

(出石メンバー) ずし呑みというイベントに関東学院大学の学生が関わったが、とても良い企画だった。市外からも参加者がいるようなら、そこで移住の相談会をする等、工夫できるのではないかと。地元が大変盛り上がりしている企画なので、産官学金労言がもっと関わることによって、広がる可能性がある。

基本目標2について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

◆基本目標3

(出石アドバイザー) 自己評価で「目標年次までには達成できない見込みである」とした具体的施策について、理由等あれば教えていただきたい。

(芳垣メンバー) 「3-2-①商工業の活性化への支援」のKPI「法人設立(本店新規)・設置(支店等)件数が法人閉鎖・解散件数の2倍以上を維持している」については、結果としてこういう数値になってしまっている。「3-2-②漁業の活性化への支援」のKPI「小坪海浜地域活性化計画が完成している」については、財政状況もありコンサルへの委託ができなかった。「3-3-②新たなビジネス等の創出への支援」のKPI「創業支援事業計画を利用し、創業

に至った者が5年間で35件になっている」については、創業セミナーへの参加者数は多いものの、創業が目標までには至っていない。ロードオアシスで行っているうみそらマルシェで試験的な出店もしているので、引き続き件数が増えるよう取組みを進めたい。

(岡本メンバー)「3-2-①商工業の活性化への支援」のKPI「法人設立(本店新規)・設置(支店等)件数が法人閉鎖・解散件数の2倍以上を維持している」について、実際には個人がいきなり法人設立することは少なく、個人で事業を営みながら設立していくことの方が多思う。今後のことかもしれないが、KPIとして個人事業主的な部分について目標値を立てることができるとよいのではないか。

(北村メンバー)「3-3-②新たなビジネス等の創出への支援」のKPIについてだが、創業支援事業計画を利用した人の件数なので、実際にはこの計画を利用せずに創業しているケースがもっとあるのではないかと思う。

(松田メンバー) 創業をした人がたくさんいる地域だと思われることで、人が人を呼び込み、創業したいと思っている人が移ってきやすい。逗子らしい創業支援を充実させ、アピールしていくとよい。

(東メンバー) ワーク・ライフ・バランス的にも副業解禁の流れがある。また、以前は子育ての拠点として逗子市に移住する人が多いような気がしたが、最近はしごとをきっかけに逗子市に住む人も増えてきたような印象がある。

(島メンバー) テレワークやシェアオフィスについて、事業者に話を聞くと、海の近くでサーフィンしながら仕事をするようなスタイルもあり、立地的に海の近くは人気があるとのことだった。創業のための器を作るという意味でも、取組みを進めるとよいのではないか。

(出石アドバイザー)「3-3-①多様な働き手、柔軟な働き方への支援」のKPI「女性の個人市民税所得割課税額が10%増加している」について、高齢社会でもあり、高齢者や障がい者の就労支援も大切なことなので、KPIで目標とされている女性に限らず、誰もが働きやすい環境を整えていくことが重要である。

基本目標3について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

◆基本目標4

(田中メンバー)「4-1-⑤持続可能なまちづくりの推進」のKPI「市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり700g以下になっている」について、達成できない見込みとなっている理由を教えていただきたい。

(事務局) ごみの分別等の取組みを進めており、排出量は減っているが、目標値である700gには届かないだろうということで、達成できない見込みと評価とした。

(芳垣メンバー)「4-2-①市民同士をつなぐ事業の推進」のKPI「5小学校区すべての住民自治協議会において、地域の課題解決の取組みが行われている」については、逗子小学校

区の住民自治協議会の設立見込みが立たないため、このような自己評価となっている。逗子小学校区では、ブロック別に取り組みを進め、少しずつ前に進んでいるような状況ではあるが、目標年次までの達成は難しいと考えられる。引き続き取り組みを進めたい。

(出石アドバイザー) 住民自治協議会について、設立の困難さは理解する。残り一つの逗子小学校区について、引き続き設立に向けて取り組みを進めていただきたい。ごみの減量もそうだが、この基本目標4で掲げる誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりは、市民が生活していくうえでとても大切な部分なので、引き続き着実に取り組みを進めていただきたい。

(田中メンバー) 昨年に比べ、平和に関連する事業で事業費の実績額が大きく変わっているが、財政状況によってメリハリをつけたということか。一方、介護の事業では、事業費が増えている取り組みもある。

(芳垣メンバー) 緊急財政対策により補助金を廃止した取り組みもあるが、例えば平和デーなどは市民が中心になり、事業としては引き続き取り組んでいる。

(須藤メンバー) 介護予防・日常生活支援総合事業については、力を入れないといけないところには、十分に予算を投入するというので、事業費が大きくなっている。

(出石アドバイザー) 基本目標4について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

(2) 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

○資料2について、事務局が説明した。

○本件(資料2の内容)について、了解された。

5 第2期逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等について

○参考4～6について、事務局が説明した。

6 その他

○基本目標に対する意見については、事務局で取りまとめ整理し、メールでメンバーに確認することとした。

○事務局から以下の点について、情報提供及び説明を行った。

- ・令和元年度の国の地方創生交付金について、神奈川県、三浦半島の4市1町の広域連携事業として三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業を申請し、採択された。逗子市ではジュニアヨット教室を行う予定である。
- ・次回の会議は、11月頃を予定しており、改めて日程調整させていただく。

7 閉会